<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>Date</th>
<th>Title</th>
<th>Pages</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>1980.8</td>
<td>原田市太郎：水草との因縁</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>原田市太郎：食にかかわりある水草</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>原田市太郎：水草の単行本</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>原田市太郎：水草研究の開拓者，三木茂博士のこと</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>会務報告，他</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>1980.11</td>
<td>三木民子：夫・三木茂のこと</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>大滝末男：新会長のことば</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>平井 屋：伊予地方に侵入したコカナダモ</td>
<td>5</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>角野康郎：水草の標本</td>
<td>6</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>角野康郎：イヌイトモの第2の産地</td>
<td>10</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>会務報告，他</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>水草研究会第2回全国集会報告</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>深泥池水生植物群落の保護について申し入れ行う</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>文献リスト 〈1976〜1980〉</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>1981.3</td>
<td>齋藤吉永：下総におけるガシャモク</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>冲  阳子：ホテイアオイ雑話=序章</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>大沢達郎：北限のオオカナダモの分布状況について</td>
<td>6</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>角野康郎：鴨川の水草</td>
<td>6</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>南 敦：水草栽培の楽しみ（一）</td>
<td>8</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>大滝末男：日本学生科学賞中央審査作品に明かされる水草類について</td>
<td>10</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>会務報告，他</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>文献リスト 〈1981〜1(1)〉</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>1981.6</td>
<td>加崎英男：ジャッキーと私（研究初期の思い出）</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>星  一彰：尾瀬沼の水生植物</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>別府敏夫：日本産アオウキクサの地理的変異とその類縁関係について</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>冲  陽子：ホテイアオイ雑話 第1章 来歴と分布</td>
<td>8</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>南 敦：水草栽培の楽しみ</td>
<td>10</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>1981.10</td>
<td>總遠喜人：クロモの染色体</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>田中修：パイオマス資源としてのウキクサ</td>
<td>2, 17</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>冐田晴美：名古屋市周辺の水草あれこれ</td>
<td>7</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>高木政喜：石川県の池沼における水生植物</td>
<td>9</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>須賀 gerekti：三重県産台湖類について（予報）</td>
<td>12</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>大滝末男：セタカミズオオバコについて</td>
<td>14</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>別府敏夫：走査電顕でみたウキクサ科植物の花と種子（要旨）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>会務報告，他</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>文献リスト 〈1981〜1(1)〉</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>1981.12</td>
<td>中沢信午：マリモはなぜ丸い</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>延原 碧：ハマツナの性質</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>冲  陽子：ホテイアオイ雑話 第2章 雑草害及び繁殖地の実態</td>
<td>8</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>平井 屋：ウキアゼナの発見</td>
<td>9</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>鈴木達夫：ガガブタのゴール</td>
<td>10</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>大滝末男：印住沼にヒナウキクサの大繁殖を見る（付）ヒナウキクサの学名について</td>
<td>10</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>南 敦：水草栽培の楽しみ</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>文献リスト 〈1981〜1(1)〉</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

—75—
No.7 (1982.3)
星 一彰：尾瀬沼にコカナダモ侵入 1
浜島繁隆：ガガブタの浮葉にみられる葉柄の伸長 2
東 義己：郵便集配区先で見える水草栽培の実態 4
角野康郎：水草とpH（1） 5
納田美也：香川県のミズニラ 8
浜島繁隆：ホソバミズヒキモの繁殖の休眠について 8
斎藤吉永：千葉県南端の水草 10
中西克爾：第25回（1981年度）日本学生科学中央審査出展品中水草関係の作品について 11
〇文献リスト〈1981—(2)〉，1976〜80
〇水草関係文献目録（1）

No.8 (1982.6)
浜島繁隆：ため池の渴水期が水草に与える影響 1
国井秀伸：コカナダモの生活環 3
斎藤吉永：赤城山大沼のコカナダモ 5
佐藤安司：シャクジイタヌキモに就いて 6
佐藤安司：岐阜県のフサタヌキモ自生地に就いて 7
角野康郎：水草とpH（2） 8
和知隆作：水草研究会員になって 10
大滝末男：むかごで殖える水草 11
〇文献リスト〈1981—(3)〉

No.9 (1982.9)
生嶋 功：東南アジアの水草 2
沖 陽子：岡山県におけるホテイアオイの評価 3
植木邦和：環境変動に対する雑草の反応—水生雑草を中心として— 6
野口達也：関東地方東北地区における水草の観察 1，トリゲモとその仲間（要旨） 8
別府敏夫：アオウキクサ属の分類と2，3の新種について 9
笠原安夫：出土種実の同定と日本古代農耕の開始期について 10
斎藤吉永：ウオーター・クローバー 13
中沢信幸：マリモの発見者アントン・ザター 14
佐藤安司：ムサタタヌキモに就いて 15
斎藤吉永：満州水草図譜と食虫植物 15
〇水草研究会第4回全国集会報告
〇文献リスト〈1982—(1)〉
〇水草関係文献目録（2）

No.10 (1982.12)
小宮定志：ミミカキグサも水草 1
浜島繁隆：ヤナギスブタとセトヤナギスブタの比較 3
佐藤安司：タヌキモ及びムジナモの古記録に就いて 4
角野康郎：オオフサモの学名 7
久米 修：香川県の水生植物目録 8
青木雅夫：館林市におけるオニバスの生育地 10
斎藤吉永：ミズアオイとその仲間 10
菅部治紀：僕と水草 11

No.11 (1983.3)
下田路子：ため池の水辺に生育する小型の「両生植物」について 1
宮下佳子：新潟県佐渡のオニバス 4
植村修二：大阪府堺市におけるウキクサ科植物の分布 7
大滝末男・釘嶋善治：セタカミズオオバコの観察 10
浜島繁隆：ガガブタの葉柄の伸長とエチレン 13
伴 幸成：ヒシを食べる動物についてのエッセイ 15
斎藤吉永：ホテイアオイを喰べる野鳥 15
南 敦：山口県のヒメウキクサの新産地 16
〇ホテイアオイ研究会の発足

—76—
水草研究会報 No.75 (2002)

○文献リスト〈1982—(2)〉
○水草関係文献目録 (3)

No.12 (1983.6)
高木俊夫：巨椋池の水生植物……………………… 1
浜島繁隆：多変量解析法によるため池の水草
のグルーピングの試み………………… 4
角野康郎：冬を越さずに発芽したオニバスの
種子……………………………………… 5
角野康郎：「キショウスズメノヒエ亜種」の
こと……………………………………… 6
○文献リスト〈1982—(3)〉,〈1983—(1)〉,補遺
○水草関係文献目録 (4)

No.13 (1983.9)
桜井善雄：近年における霞ヶ浦の水生植物の
変化……………………………………… 2
相生啓子：熱帯太平洋における海草藻場につ
いて……………………………………… 5
土谷岳令：霞ヶ浦・高浜の物質収支におけ
るヒシ群落の役割…………………… 6
野原精一：ホテイアオイの成長解析―いくつか
かの培養液濃度における生理的・
形態の変化について………………… 9
新見正：水草を土壌中に混合する事による
汚水の脱窒工法について…………………11
○水草研究会第5回全国集会報告
○佐原水生植物園で栽培中のおまかな水生植物
○文献リスト〈1983—(2)〉,補遺
○水草関係文献目録 (5)

No.14 (1983.12)
桜井善雄：西ドイツ, Boden湖における浅瀬
帯と水生植物群落の保護……………… 2
星一彰：尾瀬沼のコカナダモ分布拡大………… 6
国井秀伸：与田浦の水質と水草相の変化………… 7
中庭正人・小高利彦：太平洋沿岸におけるス
ガモ属2種の南・北限地における
生態……………………………………… 9
外山雅寛：北海道内における食虫植物の群落
と生態……………………………………12
角野康郎：手賀沼にもあったヒロハノササバ
モ………………………………………15
角野康郎：水草の奇形二題…………………… 15
○水草関係文献目録 (6)

No.15 (1984.3)
角野康郎：ヒルムシロ属同定の実際 (1)
浮葉をもつ種類………………………… 2
外山雅寛：北海道内における食虫植物の群落
と生態（第二報）…………………… 10
角野康郎：オニバスの子房何室？………………12
角野康郎：ネジレモの種子の耐凍性……………12
角野康郎：水草メモ（1）コウガイモの殖芽 …12
○文献リスト〈1983—(3)〉,補遺
○水草関係文献目録 (7)

No.16 (1984.6)
東義己：水生植物の自然観察と環境 (水草入門)
—愛知県自然観察指導員連絡協議会名
古屋東西支部例会発表より—………… 2
角野康郎：ヒルムシロ属同定の実際 (2)
広葉性の沈水植物……………………… 6
和知隆作：谷地の風物誌…………………… 12
○〈抄録〉ホテイアオイを用いた水質改善
とバイオマス生産
○文献リスト〈1983—(4)〉
○水草関係文献目録 (8)

No.17 (1984.9)
小宮宗志：羽生市宝蔵寺沼におけるムジナモ
増殖実験………………………………… 4
大滝末出：日本産アリノトウグサ科の水草に
ついて……………………………………… 6
林浩二：ヒシの出葉速度の規則性とそれを
利用した生活史の解析（要旨）… 7
桜井善雄・平松新一・呉 寿完：長野県戸隠
高原種池の水生植物相と植生図… 8
渡辺道人・桜井善雄：湖沼の物質循環系において高等水生植物の役割… 13
生崎 功：ブラジル・パラナ州大湿原と水草… 21
角野康郎：兵庫県播磨地方のオニバス群落… 25
桜井善雄：ソウギヨ（章魚）の過密放流によって壊滅した野尻湖の水生植物… 27
相生啓：International Symposium
on Aquatic Macrophytes, 18-23
September 1983, Nijmegen, The Netherlands に出席して… 29
岡島一允：兵庫県六甲山に自生するサギスゲ… 30
角野康郎：野尻湖の水草… 1980年… 31
○文献リスト〈 1984— (2) 〉
No.18 (1984.12)
立花吉茂：琵琶湖沿岸のヨシ（Phragmites communis Trin.）について… 2
外山雅寛：北海道内における食虫植物の群落と生態（第三報）… 7
K.R.Reddy（国井秀伸訳）：水生植物の栄養塩除去能力… 13
松井宏明：オニバスの種の沈降の観察… 15
星 一彰：尾瀬沼のコカダモ沼全面分布拡大… 16
角野康郎：オニバスの結実について
一訂正とお詫び… 16
○水草関係文献目録（9）
No.19 (1985.3)
太田泰雄：浮島—その形態と生態… 2
角野康郎：兵庫県播磨地方の水生植物相
記（1）… 9
国井秀伸・中村加代子：大型のスプタに関する
報告… 11
中沢信知：湖のカキツバタ群生地… 12
田村吉永：細溝川へ… 12
角野康郎：浅間湖にトゲミホザキノフサモ… 13
角野康郎：冬期の水位低下がササバモとクサイモ
ガイモの繁殖に及ぼす影響… 13
○文献リスト〈 補遺, 1984— (3) 〉
No.20 (1985.6)
桜井善雄：自然湖沼において水生植物の過繁茂を制御するためのソウギヨの放流密度について… 2
栗田秀男・峰村 宏：栄名湖におけるコカナダモと在来水生植物の分布について… 8
栗田秀男・峰村 宏：尾瀬沼におけるコカナダモの侵入と在来水生植物群落の変化… 11
平松新一：長野県で確認された2種の北方系水草の分布南限について… 16
南 敦：山口県でのササザの第二番目の産地… 17
南 敦：山口県ではほぼ22年ぶりに見つかっ
たヒメコウホネ… 17
○抄録 トチカガミ科諸属の分類
No.21 (1985.9)
青木雅夫：水生植物フサモ属の異形葉の発現機構とその生態的意義（要旨）… 4
納田美也：”アッケソウ” こぼれ話… 7
久米 修：香川県におけるオニバスの分布… 9
田中 修：ウキクサの養蚕飼料化への試み… 13
○水草研究会第7回全国集会報告
No.22 (1985.12)
浜島繁隆：ガガブタの観察 おもに生活環と形態… 2
No.28 (1987.6)

大滝末男: 荒川放水路におけるヨシ群落の有無と河川の護岸への効用

浜島繁隆: 水草の殖芽が仲長を始める時期

磯部亮一・中井三従美: 知多半島で二番目ヒメコウホネ確認

中庭正人: 茨城県沿岸における海草エビアマモの分布

下田路子: 西条盆地で新たに確認した水草

大滝末男: トウピシ流行のきざし

和知隆作: 自称自然業の登場

和泉克雄: 散文詩二遍

〇文献リスト〈1986—(3), 1987—(1)〉

〇抄録 Aquatics (Vol.9, No.1)

〇抄録 J. Aquat. Plant Manage. (Vol.24, 1986)

No.29 (1987.9)

下田路子: 西条盆地（広島県）のため池の水草

中井三従美: 知多半島にフサジュンサイ野生化

橋本卓三: 西条盆地（広島県）の現状と溜池

中井三従美: 愛知県知多半島とその周辺のヒシ属の果実形態について

角野康郎: 兵庫県西播磨地方の水生植物（予報）

斎藤吉永: 千葉県下のカワツルモ

磯部亮一: 岐阜県日本町にオニバス

橋本卓三: 福山市の一水路に見るクロモとミズオオバコの群落

〇文献リスト補遺

No.30 (1988.3)

中井三従美: 愛知県知多半島とその周辺のヒシ属の果実形態について

角野康郎: 兵庫県西播磨地方の水生植物（予報）

斎藤吉永: 千葉県下のカワツルモ

橋本卓三: 福山市の一水路に見るクロモとミズオオバコの群落

〇文献リスト〈1987—(2)〉

〇抄録 Aquatics (Vol.9, No.1)

〇抄録 J. Aquat. Plant Manage. (Vol.25, 1987)

No.31 (1988.6)

角野康郎: 兵庫県の帰化水草

浜島繁隆: 水草の種子の寿命

久米修: 簡易容器を使用したオニバスの発芽観察

中井三従美: 愛知県知多半島とその周辺のヒシ属の果実形態について（その2）

南敦: シャジクモ春期栽培で原形質流動観察

〇文献リスト〈1988—(3), 1988—(1)〉

〇抄録 J. Aquat. Plant Manage. (Vol.25, July 1987)
中井三徳美：愛知県知多半島とその周辺のヒシ属の果実形態について（その3）

大滝末男：ヨシとヒメガマの種子散布
—正月の戯れ—

中井三徳美：愛知県東海水路にみられる水生植物

星一彰：福島県裏磐梯のコカナダモ分布拡大

磯部亮一：岐阜県におけるオニバスの盛衰近況

南敦：山口県にもチクゴスズメノヒエ

大滝末男：高校の生物教育に想う

文献リスト〈1988—（3）〉

文献リスト〈1988—（2）〉

文献リスト補遺〈1976—1987〉

抄録 J. Aquat. Plant Manage.
（Vol.26, 1988）

No35 (1989.3)

文献リスト〈1989—（1）〉

文献リスト〈1989—（2）〉

文献リスト〈1989—（3）〉

文献リスト〈1988—（2）〉

文献リスト〈1988—（1）〉

抄録 Aquatics (Vol. 9, No.4 1987)

抄録 J. Aquat. Plant Manage.
（Vol.26, 1988）

No36 (1989.6)

文献リスト〈1989—（4）〉

文献リスト〈1987—（3）〉

文献リスト〈1987—（2）〉

文献リスト〈1987—（1）〉

文献リスト〈1985—（1）〉

文献リスト〈1985—（2）〉

抄録 Aquatics (Vol. 10, No.4 1989)

抄録 J. Aquat. Plant Manage.
（Vol.27, 1989）
相生啓子：アマモの生育環境 .......................... 5
生島 功・栗原真理：富栄養水域で群落を維持するオニビシのストラテジー 8
斎藤吉永：オニビシの葉を食べるオンバッタ .......................... 10
秋山 優・国井秀伸：水草による藻類に対するアレロパシー効果 11
大滝末男：沖縄島・石垣島・西表島の水草について .......................... 17
磯部亮一：ヒメコウホネ愛知県知多半島に3番目の自生地 24
中井三従美：愛知県常滑市蒲池海岸に漂着した淡水性の水草8種 24
植田邦彦：東海丘陵要素の植物地理と保護 25
下田路子：広島県西条盆地のコウホネ類（要旨） .......................... 28
斎藤吉永：マツモが千葉県北端に群生 29
斎藤吉永：茨城県蛇沼の水草の変遷 30
中井三従美：愛知県知多半島とその周辺のヒシ属の果実形態について 32
○抄録 Aquatics (Vol.10, No.1, No.2, 1988)
No38 (1989.12)
桜井善雄・苧木新一郎・上野直也・渡辺義人：ヨシ植栽地の土壌条件に関する実験的検討 2
渡辺義人・桜井善雄：ヨシの地上部と地下部における無機成分の分布 6
国井秀伸・国井加代子・麻生 黒・阪田和彦：宍道湖・中海集水域の水草相 11
下田路子：西条盆地（広島県）のミズニラの生育地 13
伊藤 厚：培養したヒメタヌキモの越冬 14
○抄録 J. Aquat. Plant Manage. (Vol.26, July 1988)
No39 (1990.3)
下田路子：韓国慶尚南道の旅 2
浜田善利：ナガボノウルシ 8
中沢信午：とんだマリソの話 12
角野康郎：ガマはどこまで小形になるか？ 13
角野康郎：中国山地にもヒメバイカモ 14
下田路子：西条盆地（広島県）の水草相への追加と訂正 15
土屋 守：埼玉県と千葉県のチクゴスズメヒエ 16
橋本真三：ヒシハムシのヒツジグサに対する忌避について 16
中井三従美：三重県多度町のトウビシ危うし 16
中井三従美：愛知県渥美半島芦ヶ池にヒメビシ 17
原田市太郎：篠遠先生を悼む 19
○文献リスト〈1989—(3)〉、補遺
No40 (1990.6)
和気俊郎・久米 修：香川県における水草分佈調査の一事例 2
松田仁松：ジョンソンのオレンジカードが発売 8
薄葉 滉：1973年当時の茨城県蛇沼の水草 9
橋本真三：芦田川（広島県）のセイタカヨシに思う事 10
大滝末男：ムジナモ発見の地に記念碑が完成 16
○アンケート報告
No41 (1990.9)
篠川通博：新潟県の平野部の湖沼の水生植物 6
浜島繁隆：鍋田干拓地内農業用排水路の水草 12
水草研究会報 No.75 (2002)

大溝末男：皇居内の水生植物……………………15
土屋守：茨城県にイボウキクサを見る………………18
中井三徳美：ヒメピシの生産球の研究………………18
塩見隆行・阿武至朗・多賀谷三枝子・南敦：山口県でホザキノフサモの生産球の研究………………18
南敦：柳井市の田布施川支流にシログワガオクサを観察した結果……………………19
南敦：山口県阿知須町の池沼を干拓に伴った新知見……………………19
南敦：山口県にイヌタヌキモ…………………19
〇水草研究会第12回全国集会報告
〇文献リスト〈1990—(2)〉

No.42 (1990.12)
国井秀伸・山田賢治：フトヒルムシロの異形葉の役割について………………2
福原晴夫・高田香・堀川恵理子：多湖地帯における山地湖沼の陸生水生植物の特徴と水生植物…………4
大野睦子：北九州産のイヌタヌキモの生活歴と変異……………………12
角野康郎：日本にもコウキクサは分布する……………………20
浜田善利：熊本で水田雑草化したナガボノウコンの除草について…………17

No.43 (1991.4)
桜井善雄：水生植物群落の復旧技術の現状と課題……………………1
桜井善雄・苧木新一郎・田代清文：湖岸植物の植栽時の土壤侵食防止材料の検討（第2報）…………9
野口昭：深泥池浮島に生育するミツガシワ（Menyanth es trifoliata L.）の種子生産について…………15
外山雅寛：北海道のミズバシヨウ（M. trifoliata）の現況……………………22
外山雅寛：北海道のエゾノミズタデの新産地……………………24
外山雅寛：オオバナイトタヌキモの北海道現況……………………25
嶋田直哉：岐阜県南濃町におけるオニバスの現況……………………25
尾崎富雄：ニュージーランド産 Potamogeton の一品……………………26
南敦：柳井市の草食魚・魚類に余り細毛のないチクゴスズメノヒエ……………………27
角野康郎：北海道におけるエゾノミズタデの一産地……………………………………28
○文献リスト〈1990—(4) 1991—(1) 補遺〉

No.45 (1991.12)
堀川恵理子・福原晴夫：新潟県におけるアオウキクサとコウキクサの分布と生
態………………………………………………………………………………1
橋本卓三：福島市松永地区（広島県）の溜池の水草……………………………10
相生敬子：熱帯海草の特性……………………………………………………17
大滝末男：釧路湿原の湿地と周辺の4湖沼（遠古武沼・シラルトロ湖・帯路
湖・春採湖）の水生植物……………………………………………………23
外山雅寛：北海道の湿地に見る希少植物数種について………………………29
南 敦：山口県周防南部の池沼・河川の水草（その2）…………………………31
星 一彰：福島県猪苗代湖のヨシ群落…………………………………………33
○文献リスト 〈1991—(3)〉

No.46 (1992.4)
内山 寛：入船浩平・中田政司・陳 瑠陽：
均 専：田中隆哉：1989年度日中協同研究
による中国華中地方における水草の観察……………………………………1
下田路子：西条盆地（広島県）のポタングク
クサ…………………………………………………………………………5
浜島繁隆・倉内一二・中西 正：神前新田
（豊橋市）とその周辺平野地の農業用水路の植生…………………………7
角野康郎：兵庫県東播磨地方の冬緑性アオウ
キクサ属植物………………………………………………………………11
外山雅寛：蝦夷ケダ時代に記録された水生植
物への照射より得られた知見～特別注目される暖地性－熱帯性植物
について………………………………………………………………………15

No.47 (1992.8)
福井順治・清水 源：静岡県のヒシ属果実の
形態変異の分析………………………………………………………………1
岩村正浩：佐賀県におけるタヌキモ類の分布…………………………6
角野康郎・久米 修：香川県の冬緑性アオウ
キクサ属植物………………………………………………………………11
角野康郎：湿地・湿原関係文献目録（植物）1…15
○文献リスト 〈1991—(4)〉

No.48 (1992.12)
相生敬子：生態系思考—アマモから見た水
界…………………………………………………………………………1
内山 寛：沖縄・八重山諸島のイバラモ属植
物…………………………………………………………………………6
田中 修：アオウキクサの花芽分化誘導機構………………………………9
安原健児：フジマリモについて………………………………………………17
杉浦忠男：山中湖産フジマリモの特性………………………………………19
中村俊之：大阪府堺市におけるため池の水生
植物の現状…………………………………………………………………24
平啓雅子・角野康郎：日本産アオウキクサ属
植物の研究の現状と今後の課題……………………………………………28
外山雅寛：北海道新分布のホッスモと弁天沼
の水生植物…………………………………………………………………34
外山雅寛：知知郡南幌町の水生植物数種……………………………………27
南 敦：山口県柳井市に再びシチトウ……………………………………27
南 敦：山口県にホソバオモダカ…………………………………………33
外山雅寛：これは何ぞや—正体不明の水生植
物…………………………………………………………………………36

久米 修：香川県におけるオニバスの生育状
況2…………………………………………………………………………23
南 敦・阿武至朗・加賀谷美枝子：山口県
秋吉台カルストから生じる湧泉などの植物…………………………28
南 敦：山口県周防南部の池沼・河川の
水草（その3）…………………………………………………………29
橋本卓三：オニバス種子の発芽観察………………………………………33
○文献リスト 〈1991—(3)〉
斎藤吉永：ナガエツルノゲイトウ印旛沼に多
産………37
星 一彰：福島県裏磐梯のコカナダモ，オオ
カナダモ…………………………………38
〇文献リスト〈1992—(2)〉
〇第14回全国集会・山中湖の報告

No.49（1993.4）
國井秀伸：水生植物の生態と管理に関する国
際シンポジウム（フロリダ）に参加して…………………1
下田路子：アメリカ合衆国北東部の湿地を訪
ねて………………………………………5
下田路子・橋本卓三：ため池の水草の分布と
水質………………………………………12
木下 覚：徳島県鳴門市におけるウキクサ科
の分布……………………………………16
服部卓生・渡辺義人：ユリの成長・枯死過程
における N, P の地上部から地下
部への移行（要旨）………………………19
土屋 守：福島県にてエゾホシクサを採る………20
角野康郎：然別湖のカラフトグワイは絶滅！…20
〇文献リスト〈1992—(3), 1993—(1)〉
〇植木邦和博士を悼む

No.50（1993.8）
小林節子：水環境からみた印旛沼，手賀沼の
水草の近況と今後の課題………………1
園井秀伸・セニー・スナニサリ・福原晴夫・
中島拓夫：オオニバスの葉の成長
………………………………………………12
園井秀伸：国際シンポジウムの参加記録…………16
立花吉茂：ウルグアイの水生植物について………17
蒲原幸生：水草と水辺環境……………………19
久米 修・和気俊郎・納田獒也：香川県「逆
桝池」の水生植物相……………………20
外山雅寛：北海道のスキナモ～新産地報告～…25
〇第55回全国集会・大津の報告

No.51（1993.12）
生崎 功・前河孝志・森田 尚：ヨシ群落の
ワイルユースを考えるときに………1
下田路子・井手口佳子：山口県下関市東部の
ため池の水草……………………………7
宮本明宜：九十九里平野の池沼群における水
草の分布と水質……………………………12
大森雄治：日本固有のアマモ科植物の研究の
歴史と現状……………………………19
外山雅寛：札幌市モエレ沼の水生植物と自然
破壊の現状……………………………26
戸部武平：鬼ヶ途ツイテ……………………32
浜島 繁隆：ホソバミズヒキモに発生した瘤
（gall）…………………………………34
〇文献リスト〈1993—(2), 1992 補遺〉

No.52（1994.4）
加崎英男：絶滅の危機にあるホシツリモ………1
田中俊雄・野口順子：京阪神地域で生育する
オオカワダチャとカワダチャについて……………………5
高田 順：秋田県のホシクサ属（Eriocaulon）
植物—秋田県植物分類ノートV—………16
土屋 守：茨城県笠間市のトウゴクヘラオモ
ダカ……………………………………30
星 一彰：福島県岳温泉大和溜池のウカミカ
マゴケについて…………………………31
〇文献リスト〈1993—(3), 1994—(1)〉

No.53（1994.8）
角野康郎：兵庫県におけるため池の水生植物
の現況 1. 明石市（1992）………………1
山本一漬：シバナ（Triglochin maritimum L.）
の発芽生態………………………………8
角野康郎：日本におけるオニバスの既知産地…15
浜田善利：ナガボノウルシの既知産地………20
角野康郎：水草関連文献のデータベース化
（中間報告）…………………………21

—85—
No.54 (1994.12)
加崎実男：初代会長原田市太郎先生を偲んで… 1
太田敬久：原田先生と水草と私……………………4
浜島繁隆：原田市太郎先生の思い出…………………5
丸井英幹：霞ヶ浦における水生植物相の変化… 8
後藤直明・大滝末男：霞ヶ浦の水生植物の現状と過去…………………………………………………13
外山雅寛・大滝末男：日本におけるヒンジモの分布－特に分布の動向・天然記念物への緊急指定化をめざして……23
木村保夫・園井秀伸：バイカモ類の酵素多型と形態変異（要旨）………………32
園井秀伸：ジュンサイの浮葉と地下茎の動態（要旨）……………………………………33
田中俊雄：オオカワデシャとカワデシャの間の雑種………………………………………34
斉藤吉永：ムジナモの多産を報じた古い論文………………36
園井秀伸：イトクズモ（ミカヅキイトモ）発見…………38
角野康郎：フサジュンサイの北限……………………39
角野康郎：オオサンショウモの野生化………………39
〇文献リスト（1993—(4), 1994—(2)）
〇1994年度総会報告

No.55 (1995.4)
尾崎富雄・石田正男：新潟県豊栄市福島潟におけるオニバスの栽培… 1
下田路子：ミズニラの生育地－広島県高田郡吉野町の場合－………………9
角野康郎：兵庫県におけるため池の水生植物の現状. 2.吉川町湯谷・法光寺地区（1992）……………………………………13
濱谷修一・橋本清美：オニバスの花芽形成に及ぼす短日条件の影響………………………17

No.56 (1995.10)
下田路子：イギリスとオランダの国立公園を訪ねて…………………………1
下田路子・吉野由紀夫・関 太郎：広島県における水草・湿性植物の現状…………9
南 敦：山口県平生町で栄養体の裏面緑色のウキクサ群落……………………12
南 敦：山口県山田内海の屋代島にミジンコウクサ他……………………12
白岩卓巳：ミズワラビの生活史……………………13
南 敦：カサザヤモが山口県にもあった……17
村山恵子・刈屋寿・福原晴夫：新潟県のイボウキクサ……………………18
松本修二：兵庫県東播磨地方のミミカキグサ生育について………………20
岩村浩明：水草研究会第17回全国集会見学記………………………………26

No.57 (1995.12)
神谷 要・園井秀伸：宍道湖・中海周辺のため池の水草相の10年の変化……………1
園井秀伸：ヒツジグサ地下茎の長期観察………………5
下山田隆・山田卓三・岩戸司：シチメンソウ（Suaeda japonica Makino）の研究－紅葉について－………………8
藤井伸二：徳島県吉野川におけるイセウキガラの記録と生態ノート…………12
田中俊雄：アカウキクサの元記……………………15
久米修：簡易容器を使用したオニバスの発芽観察2……………………18
松本 仁：アサザ（ミツガシワ科）の大阪府茨木市・摂津市における自生について
水草研究会報 No.75 (2002)

No.58 (1996.8)
矢川水質調査会：矢川における水生植物の年間変化と分布状況 ..................1
高田 順：ホシカクサ属数種の種子形態 (1) ..........................18
橋本卓三：十塚池オニバス群落のその後 ..........................25
星 一 彰：福島県猪苗代湖のミズギゴケ ..........................26
藤井伸二：マルバノサワトウガラシ滋賀佃朽木村でみつかる ..........27
藤井伸二：大阪府にイセウキヤガラが生じていた ..........................28

No.59 (1996.10)
津久井公昭・山崎正夫：酵素電気泳動法によるミクリとナガエミクリの同定手法について ..........................1
上赤博文：1995年と1996年に佐賀平野で発生したオニバスについて ....5
久米 修：香川県におけるオニバスの生育状況 ..........................10
長井真隆：黒部川扇状地湧水地帯の水生植物 ..........................15
山本博子・藤井伸二：ボタンウキクサの種子越冬と発芽の記録 .........17

○水草研究会第18回全国集会報告

No.60 (1997.3)
松井英明・佐々木英代：十勝川水系におけるバイカモ (キョンボケ科) 移植の試み ........................................1
山崎正夫・津久井公昭：東京都内における水生植物の分布と生育環境について ..........................7
角野康郎：兵庫県産水草目録 (新) ................................15
土屋 守：千葉県野田市産するアカバナ属の一種について .............21
西野 敦：吹田市におけるため池の水生植物の現況 (1996) ..............25
西村由布子・田中 修：イボウキクサ (Lemna gibba G3) の再分化 (要旨) ..........28
白岩晃：後出のオオサンショウモが姿を消した ..........................29

No.61 (1997.6)
国井秀伸・井上功一：バイカモの成長と光合成 ................................1
下田路子：オーストラリア南西部で訪ねた2種類の湿地：人工の湿地と自然の湿地 ..................................12
上赤博文：佐賀平野の水辺環境「クリーク」を佐賀の高校生はどのように認識しているか ....................19
下田路子：「池の生物プロジェクト (The Pond Life Project)」の紹介 ..........23

○文献リスト，書評

No.62 (1997.10)
John Kuo・相生冨子：オーストラリアの海草とマリンボール ..........................1
荒金正憲：小田の池湿原 (大分県湯布院町) の植生とフロラ，そして，その保存 ..................................8
浜島繁隆：濃尾平野南西部にみられる農業用水路の水生相の変化 ..........................16
角野康郎：環境庁版レッドリスト (1997) に挙げられた水生植物 ..........18
木下 聡：徳島県におけるミクリ属の分布 ................................22
北谷 修・橋本清美：温室内でオニバスの冬越しに成功 ..........................25
長崎 拝：ヒメコウホネのフェノロジーと植食性昆虫との相互作用 ................................27
久米 修・和気俊郎：休耕田でオニバスが生育 ..........................28

○水草研究会第19回全国集会（徳島）報告

－87－
No.63（1998.2）
大野啓子・真鍋 徹：北九州の海岸埋め立て地に成立した植物群落の組成と構造…………………………1
小林節子・岩木晃三：印旛沼の水草の衰退と水質への影響……………………………………11
下田路子：広島県豊栄町のため池の植物……………………21
丸井英幹・梅原 徹：淀川のヨシ群落……………………………………26
木村保夫・安藤義範：鳥取県大山周辺におけるルバイカモ類の分布………………………………35
高田 順：ホサクサ属数種の種子形態（2）……………………………………38
田中修子・西村由布子・千代美詠・田中 修：イボウキクサ（Lemma gibba G3）の実生系統の花成反応……………………………………44
No.64（1998.10）
丸井英幹・永野正弘・梅原 徹：ヨシーカヌムグラ混生群落の現存量………………………………1
久米 修：香川県のフサモ属について……………………………………9
田中俊雄：オオカワチシャ（Veronica anagallis-aquatica L.）とカワチシャ（V. undulata Wallich）の間の人为交配実験……………………………………16
渋谷修一：ギアナ高地の植物特にロライマ山の山上台地に広がる湿地の植物と生育地の水陸 pH について……………………18
○文献リスト
No.65（1998.12）
浜端悦治：小川原湖（青森県）における沈水植物の分布現況（要旨）…………………………1
春日井 隆：水族館におけるアマモの育成と展示……………………………………………………4
高橋英樹・桑原康裕・大原昌宏：北千島バラムシル島でアカマロソウ再発見……8
橋本卓三：広島県三次市のため池に生育する浮葉型水草……………………………………10
高橋英樹：北海道雨竜沼からヒメミズニラを記録する………………………………………17
土屋 守：ツリフネソウ属の帰化植物……………………………………19
藤井仲伸：琵琶湖乙女ヶ池にボタンウキクサ………………………………………21
○水草研究会第20回全国集会報告
No.66（1999.3）
下田路子・宇山三穂・中本 学：深田の植物—敦賀市中池見の場合…………1
津久井孝博：栽培条件下におけるオオアプロメ Gratiola japonica Miq. の茎と葉の観察……………………………………………………10
木村保夫・鈴木正幸・大野啓一・高久景一：タコノアシの生活史と異なる水分条件に対するその成長特性…………………………15
久米 修：香川県のイバラモ属……………………………………19
森 由紀：沖縄県石垣島における水草の現状……………………24
神谷 要：阿寒湖で見つけたイトクズモ（Zannichellia palustris L.）の切れも………………………………33
No.67（1999.5）
森 由紀：石垣島ブネラ湿地の水草相…………………1
下田路子：ヨーロッパ各地の農村と湿地—オランダ，イギリス，イタリアにて………………………………9
上赤博文：佐賀県の「ヒショモドキ」と「デジソウ」，公共工事で消滅の危機…………24
角野康郎：『日本水草図鑑』重版における修正正箋…………………………………………31
○水草に関するホームページ
○水草関連文献リスト
No.68（1999.12）
秋山次徳：宮崎県内の溜め池に生育する水草植物………………………………………1
加藤拓雄・土谷岳令：スイレンとヒツジソウにおける給気とその生態学的重要性（予報）………………………………6
水草研究会報 No.75（2002）

国井秀伸：鳥取県松江市で発見されたヒメシロアサ
………………………………………………………13

上赤博文：佐賀平野で猛繁殖したボタンウキクサ
………………………………………………………15

上赤博文：佐賀県鳥栖市に造成されたビオトップ水田に発生した水生植物と濕生植物……………18

水田光雄：神戸でツツイモが生育……………………21

中庭正人：茨城県ひたちなか市の海産顕花植物の現状 .................................1

下田路子・関岡裕明・中本 学・筒井宏行：水田雑草の動態と保存全～敦賀市中池見の事例～……5

浜島繁隆：ガガブタの異形葉と葉の再生実験…………12

藤井伸二：ヒキノカサの個体群規模と生態に関するノート…………………………16

高田 順：ホシクサ属種の種子形態（3）…………22

上赤博文：佐賀県のヒシモドキとデンジソウ（続報）……………………………35

角野康郎：「專業館頭」………………………………39

○水草関連文献リスト，総会報告，他

No.69（2000.3）

中庭正人：茨城県ひたちなか市海岸の海産顕花植物の現状 .................................1

下田路子・関岡裕明・市山三穂・中本 学・筒井宏行：水田雑草の動態と保存全～敦賀市中池見の事例～……5

浜島繁隆：ガガブタの異形葉と葉の再生実験…………12

藤井伸二：ヒキノカサの個体群規模と生態に関するノート…………………………16

高田 順：ホシクサ属種の種子形態（3）…………22

上赤博文：佐賀県のヒシモドキとデンジソウ（続報）……………………………35

角野康郎：「專業館頭」………………………………39

○水草関連文献リスト，総会報告，他

No.70（2000.7）

静岡県立静岡高等学校生物部：安部川下流域（静岡市）のミクリ類 .................................1

筍原 治：新潟県松浜の池に生育するオニバス………………………………………………………15

藤井伸二・栗林 実：琵琶湖におけるヤナギトラノオの分布 .................................17

辻本 靖：西表島固有イネ科水生植物イリオモテガヤ（Chikusichloa brachyathera Ohwi）の生育環境 .................................20

下田路子：パイン・バレン（ニュージャージー州）の湿地 .................................22

○水草研究会第22回全国集会

○文献リスト

No.71（2000.11）

岩村光雄：佐賀県産水草目録……………………………………1

関岡裕明・下田路子・中本 学：中池見における水生植物の toi と保全～敦賀市中池見の事例～…5

浜島繁隆：ガガブタの異形葉と葉の再生実験…………12

藤井伸二・栗林 実：琵琶湖におけるヤナギトラノオの分布 .................................17

山崎真実：水生植物の約束に参加して飛ぶコハクチョウ…………22

星 一彰：福島県裏磐梯柳沼のミクリについて……………………………………23

○水草研究会第22回全国集会

○水草関連文献リスト

No.72（2001.3）

持田 誠・三浦喜裕：淀川ワンツのボタンウキクサ……………………………………1

中 優：三重県松阪市のため池における水草相…………………………………………5

高田 順：ホシクサ属種の種子形態（4）…………17

静岡県立静岡高等学校生物部：静岡市近郊における5種の絶滅危惧植物の現状…………24

神谷 要・国井秀伸：汽水性沈水植物リュウノヒゲモ（Potamogeton pectinatus L.）に与える水鳥の影響…………………………33

神谷 要：水鳥の糞から取り出したリュウノヒゲモ（Potamogeton pectinatus L.）の種子の発芽について……………………36

○府県版レッドデータブックの紹介

○水草研究会第22回全国集会

No.73（2001.11）

梅原 徹：大阪で絶滅した水草の標本採集年

—89—
水草研究会報 No.75（2002）

代……………………………… 1

竹田正義：但馬地方の水湿地に生育する絶滅危惧植物…………………… 7

津久井孝博：栽培下でのオオアブノメ Gratiola japonica Miq. の受粉と開花習性…18

神谷要：鳥取県東部大社町におけるボタンウキサの越冬個体群の消失について………..24

渋田謙譲・高橋八千代・神田房行：北海道厚岸町でヨツバツギナモを再発見……28

浜島繁隆：ヤシギスプタの苗エイ……………………33

〇水草関連文献リスト

No.74（2002.2）

志賀隆・石澤進：新潟県頭城湖沼群の水生、湿生植物相…………………… 1

高田順：北海道山見湿地のホシクサ属植物…23

嶋田拓也・日場一雅：水生植物相による香川県仲多度地方のため池群の類型化…35

山内香澄・菊池俊一：北海道美々川源頭部におけるオランダガラシ（Nasturtium officinale R.Br.）の生育環境について……………………45

水田光雄：兵庫県におけるツツイトモの新産地…………………………50

〇水草研究会報総目次

No.75（2002.6）

安藤義範・森政伸・大西智佳：錦海塩田跡地におけるアッキソウの生態……1

浜島繁隆：ミズスギヤの生活環、特に茎生えの生態と茎からの再生……………11

荒木悟：北海道のコタヌキモの果実形成と結実について…………………………14

渡辺朝一：新潟県朝日池における純度の高いオニビシ群落…………………………18

「20周年記念特集」にあたって………………………………23

小宮定志：羽生市宝厳寺沼グナメ自生地の現況について……………………………24

岡島一允：宝塚ファミリーランド「水草園」の追憶…………………………………27

杉村康司：レッドデータブックに記載された水中や水辺に生育するコケ植物……29

田賀辰也：ミミカキダサから内水面漁撈習俗へ……………………………………32

後藤直和：霞ヶ浦の水草とのつき合い40年…………34

安原健允：ツエラー湖の“まりも”……………………………36

持田誠：水草研究会から学ぶ………………………………42

〇全国集会の記録………………………………………43

〇水草研究会報総目次No.1〜No.75……………………76